



# 写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2019  
秋号  
No.72  
(2019年10月発行)

Top News

## 7/3

第1回組合員学習会

「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」について  
取り組みを学びました



埼玉県の子どもの貧困対策について  
お話いただきました



取り組み報告の感想などを  
都度交流・共有しました

浦和コミュニティセンター第13集会室にて「子どもの貧困や生活困窮者への支援」、地域コミュニティづくりや見守り、多世代が集まる場づくりなどについて、各生協と県内で活動する団体の取り組みを学び、相互理解を深め、今後の活動につなげることを目的に、4生協72人の参加で第1回組合員学習会を開催しました。

【報告事例】「多世代コミュニティキッチン」「シニアの居場所づくり座談会」「子ども食堂」「フードバンク埼玉」「フードドライブ活動を通して」「小児虐待対策チームの取り組み」「埼玉県のとりくみ」



憲法9条こそSDGsを深化させたものだと言われました

## 7/12



弁護士の伊藤眞さん

第55回埼玉県消費者大会実行委員会の「憲法」について学びたいとの要望を受けて、弁護士の伊藤眞さんに二人ひとりが大切にされる社会を「わたしたちのくらしと憲法」と題してお話しいただき、95人が参加しました。憲法に守られて今があると思っただけ、改憲によってどう変わるのか、初めてイメージできたなどの感想が寄せられました。

第55回埼玉県消費者大会「レ」学習会

わたしたちのくらしと憲法のかかわりについて学びました



全議案が承認されました

## 6/26

### 適格消費者団体 特定適格消費者団体 NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 通常総会、記念講演を行いました



NTTドコモへの差止請求訴訟について報告する長田弁護士

浦和コミュニティセンター第15集会室にて第16回通常総会を開催し、団体・個人正会員はじめ67名が出席、3つの議案が承認されました。記念講演として、なくす会の差止請求および被害回復活動について、担当弁護士・司法書士から報告され、池本誠司理事長が総括報告を行いました。



被爆者の証言の朗読

## 7/28

### 第34回埼玉県原爆死没者慰霊式 260人が参列、 慰霊式を開催しました



主催者代表の言葉を述べる、埼玉県原爆被害者協議会 田中照巳会長

埼玉県原爆被害者協議会主催同実行委員会協力により、浦和コミュニティセンター多目的ホールで開催され、ご遺族、被爆者の皆さんはじめ、県やさいたま市、関係団体等から260人が参列しました。死没者名簿奉納、黙祷、慰霊のことば、来賓あいさつ、献花と折り鶴奉納、被爆者の証言の朗読など行いました。



段ボール円卓「えんたくん」を使って、意見を出し合いました

## 8/27

### 埼玉省委託事業 県内消費者団体全体研修会 コミュニケーションについて学び、 活動交流しました



ハンズオン埼玉の川田虎男さん、西川正さんを講師に迎えてグループワークしました

埼玉県消費者団体連絡会は、県内消費者団体の交流と学習を目的とする全体研修会を埼玉会館ラウンジで開催し、16団体66人と、初めて公募した一般16人、計82人が参加しました。午前中は「コミュニケーションスキルアップ」についてグループで学び、午後は48人が日頃の活動について交流しました。



飲料・菓子等配布訓練



握力チェック(医療生協さいたま)



防災クイズ(コープみらい)

## 8/31

### 第40回九都府合同防災訓練(埼玉県会場) 埼玉県との災害時協定に基づき、 防災フェアに出展しました

埼玉県と埼玉県生協連、コープみらいが締結している「基本協定」「物資協定」にもとづき、今回で21回目の参加となり、大野元裕県知事や県議会関係、和光市長、消防本部、県警、医療、社協など約130機関・団体、約8,000人が参加しました。埼玉県生協連と各生協は、防災フェアでの企画に役職員15人が参加し、埼玉の生協の活動を広くアピールしました。

## 会員生協の取り組み

# 広がる県内生協の多彩な活動

### 生活協同組合コープみらい

県内19会場で子どもたちが環境について学びました



トイレットペーパーの芯を使って万華鏡を作りました



コープのお店で環境に配慮した商品を探しました

夏休みに子どもたちが身近な場所で環境について学び考える「エコたんけん隊」を、地域のブロック委員会が毎年開催しています。コープの店舗・宅配センターなど19会場で210人の子どもたちを含む246人が環境に配慮した商品を探したり、コープのリサイクルの取り組みを見学する「エコたんけん」や、ペットボトルや牛乳パックなどを使った工作やエコな調理を楽しみました。リサイクルや環境に配慮した生活することの大切さについて学び、環境に関心を持ってもらう機会になりました。

### 医療生協さいたま生活協同組合

サマーランチ企画に多くの子どもが参加しました



多世代食堂では、夏休み期間にサマーランチを開催しました。介護付有料老人ホーム桂の樹内の桂(かつら)ん家(ち)での流しそめんの特別企画には61人が、サマーランチには5回で計184人が集まりました。埼玉西協同病院内の地域コミュニティルーム「ゆるっと」でのサマーランチ「さんとめきら」には5回で計180人が参加し、食事と宿題やお絵描きなどを楽しみました。

### さいたま住宅生活協同組合

2019原水爆禁止世界大会(長崎)に代表団を派遣



今年で代表団を派遣する事業は2年目となります。昨年はヒロシマに6人、今年ナガサキに7人を派遣しました。中学生の男の子、女の子の双子と母親、大学生の男の子と母親が参加、子どもたちはすべてが初めてのことで目を丸くしながらの旅でした。原爆資料館、大浦天主堂で驚きと感動を覚え、米軍佐世保基地の状況を現地の方の説明を聞き、毎年基地が強化されていく現状に驚きと危機を感じました。

### 生活協同組合パルシステム埼玉

人と人をつなぎ、受け継がれる国際交流 日韓子ども交流2019



青空のもと、手作りの竹とんぼをとばしました

今年で20周年を迎えた日韓子ども交流を7月25日～28日の日程で行い、パルシステム埼玉の組合員の子どもたちが韓国ブルドゥレ生協の子どもたちを迎え、交流を深めました。

日韓子ども交流は、パルシステム埼玉と韓国ブルドゥレ生協とのつながりの中、2000年に始まった交流活動で、1年おきに互いの国を訪問し、これまでにのべ200人以上が参加しています。交流に参加した子どもたちは、生活を共にしながら言葉の壁を乗り越え、双方の文化や習慣の違いを知り、友情を育みました。

### 生活クラブ生活協同組合

講座「森の仕組みを知ろう! ~木ってすばらしい!~」を開催



8月20日(火)、北本自然観察公園にて講座を開催、40人(うち子ども9人)が参加しました。ホテルが自生する豊かな森を、自然学習指導員さんのキノコの話聞きながら歩き、自分でクワの枝を折り取って紙をつくる体験をしました。

参加者からは「キノコは変化しながら生きている動物だった。生き方の多様性を考えた」「生きているクワのえだを紙にするのはたいへんだったけれど、とても楽しかった(小学生)」などの声がありました。紙も自然の生命から出来ていることを実感し、暮らし方を振り返る時間にもなりました。

### 埼玉県労働者共済生活協同組合

「労済デー」を実施し県民に広く自然災害に対する備えを呼びかけました



埼玉労済生協(こくみん共済coop<全労済>埼玉)の創立記念日で東日本大震災が発災した「3月11日」と、防災の日である「9月1日」に合わせ「労済デー」(労働者共済運動の告知活動)を実施しています。

「第1回労済デー」では、近年多発している自然災害への「事前の備え」「防災・

減災」を広く呼びかける活動とし、職員によるチラシのポスティング活動と駅頭チラシ配布活動を実施しました。9月9日関東地方に上陸した台風15号は、千葉市で最大瞬間風速57.5メートルを観測し、記録的な暴風が吹き荒れ、建物災害や大規模停電・断水など首都圏に大きな影響を与えました。引き続き「事前の備え」「防災・減災」を呼びかけていきます。

### 跡見学園女子大学生生活協同組合

就活応援冊子「@ me job」を発行



跡見は1,2年生と3,4年生でキャンパスが分かれており、3年生になると一気に就活モードになります。キャンパスが違っても、なかなか就活の情報、特に先輩の体験が伝わりにくいこともあり、上級生キャンパスの情報も含めて就活応援冊子を発行しました。分厚い就活本の必要な部分だけを切り取り、持ち運ぶという先輩の経験ならではの紹介もしています。